



生徒が自分たちで作りあげた大成功の体育祭でした。

5月16日(土)に、第48回太宰府中学校体育祭を実施しました。本年度の体育祭スローガン『瞬火集闘(しゅんかしゅうとう)~On your SWITCH~』にふさわしく、自分たちで作りあげるといふ目標のもと、1か月間努力してきた姿を、体育祭当日も見せてくれました。競技や演技で頑張るだけでなく、実行委員としての役割、リーダーとしての役割、係の仕事など、目立たないところでもしっかりと取り組んでいた姿はとても素晴らしかったです。「自分たちでつくる」体育祭を実現してくれたことをうれしく思いました。とくに、閉会式での成績発表において、ブロックや学級の枠をこえて、互いの努力を認め合う生徒みんなの姿に感動しました。1年生は初めての体育祭でしたが、先輩たちの指示をしっかりと聞き、一生懸命についていく姿が見られました。2年生は、3年生を支えていこうという姿が見られるとともに、来年度自分たちがつくる体育祭のイメージをもって取り組んでいました。3年生は1、2年生をしっかりと引っ張り、自分たちの力で体育祭をつくりました。当日だけでなく、練習期間中も互いに支え合って太宰府中学校の伝統をしっかりとつないでくれました。さすが太宰府中学校の3年生だと感じました。体育祭の取組をとおして、太宰府中学校が1つになりました。「忘れ物をしない」「時間を守る」「みんなでつくる」「自分たちでやる」といった体育祭の取組をこれで終わらせるのではなく、これからの学校生活の中でもいかしてくれることを期待しています。



教員の中心となって体育祭の運営にあたった濱河先生からのメッセージを紹介します。

第48回体育祭お疲れさまでした。4月27日(月)の結団式で私が言った「1度きりしかない今年の体育祭」はどうだったでしょうか。ブロック結団式での3年生リーダーのやる気から全力で体育祭練習を行おうとする姿が多く見られました。私は今年も体育祭の推進委員長をさせてもらって、「全力で一所懸命に頑張る姿はカッコいい」と思いました。1年生にとっては初めての学校行事で、前に立って士気を高める先輩方についていながら全力で取り組んだ体育祭、2年生にとっては後輩がいる中で先輩としての姿を見せ、先輩を支えつつ、来年度のことも考えた体育祭、3年生にとっては中学校生活最後の1度しかない「自分たちで創り上げた体育祭」だったと思います。それぞれの立場や思いがありつつも体育祭が終わった後には「やりきった」「体育祭が楽しかった」という言葉を多く聞くことができ、私も今年の体育祭推進委員長を務めてよかったと感じました。体育祭は1~3年生が初めて行う学校行事だからこそ、クラスのつながり、学年のつながり、ブロックのつながりを深め、太宰府中学校が1つになる大切な機会だと私は思います。体育祭で見せた全力で一所懸命に取り組むことは決して恥ずかしくはありません。むしろ、とてもカッコいいです。一所懸命に取り組んだ皆さんは、さまざまな経験を重ね、さらに成長していくと思います。日頃の学校生活でも何かに全力で取り組む仲間を他人事のように見るのではなく、自分事として受け止め、互いに高め合える仲間であってほしいと思います。そしてこれからも、太宰府中学校全員で成長していくことを期待しています。

当日は、多くのご来賓や保護者の方から、努力する生徒への激励をいただき、誠にありがとうございました。体育祭当日の運営にご協力いただいたPTA本部役員、生徒のようすを撮影していただいた広報委員の皆様、警備をいただいた「おやじの会」の皆様、本当にありがとうございました。また、体育祭の練習期間中、ご理解いただいた近隣の皆様にも感謝申し上げます。



3年生にとって最後となる中学校総合体育大会やコンクールがはじまります。

6月1日(月)に部活動選手激励会を実施しました。6月6日(土)の筑紫地区陸上競技大会をスタートに、部活動の大会やコンクールが始まります。部活動には、技術の向上だけでなく、仲間とともに困難を克服したり、異学年で取り組んだりすることで、集団として行動する大切さを学ぶよさがあります。3年生にとって最後となる大会やコンクールです。悔いを残さないように、しっかりと準備をして、大会やコンクールに臨みましょう。